

小浜市 通学路交通安全プログラム
～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成26年9月

小浜市通学路安全推進会議

1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、関係機関が連携し、平成24年7月から各小学校の通学路において緊急合同点検を実施するとともに、必要な対策内容について協議してきました。引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「小浜市通学路交通安全プログラム」を策定しました。今後は、本プログラムに基づき、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2. 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置しました。本プログラムは、この会議で議論し、策定しました。

【委員（庁内）】

- ・小浜市教育委員会
- ・小浜市総務部生活安全課
- ・小浜市産業部都市整備課

【委員（庁外）】

- ・国土交通省福井河川国道事務所
- ・小浜警察署
- ・福井県小浜土木事務所
- ・小学校、中学校代表者

3. 取組方針

（1）基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

（2）定期的な合同点検

市内の小学校について、それぞれ1年に1回、合同点検を実施します。実施時期は、積雪時の危険箇所の把握が必要であることから、夏期と冬期を交互に行います。

（3）対策の検討

合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検

討します。

(4) 対策の実施

対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

(5) 対策効果の把握

合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、PTAへの聞き取り調査など、対策実施後の効果を把握するための手法を検討し、対策効果の把握を実施します。

(6) 対策の改善・充実

対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4. 箇所図、箇所一覧表の公表

点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。